愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	図画工作科教育法		
担当者(Instructors)	新實 広記	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

図画工作科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された図画工作科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。また、対面授業では実技を取り入れた講義を中心に行い、知識や技法を体験的に学ぶ。オンデマンド授業では、講義、調べごと学習を中心に行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。指導案の作成や模擬授業の振り返りなどにおいて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	学習指導要領における図画工作科の目標及び全体構造について	図画工作科教育の歴史を振り返り、教育の目標とその変遷について学び学習指導要領の理解を深める。	□
第2回	図画工作科における授業設計の方法と理解	図画工作科の性格と目標、人間の形成にどのような役割があるのかを理解して授業設計の方法を学ぶ。	□
第3回	図画工作科における指導上の留意点について	図画工作科の学習指導要領の分析を行い、学習展開の留意点、指導上の留意点について理解する。	□
第4回	図画工作科の学習評価の方法と理解	図画工作科の学習評価の方法と留意点について、具体例や模擬評価を実際に行い理解を深める。	□
第5回	図画工作科と他教科との教材研究、情報機器及び教材の効果的な活用法	図画工作科と他教科との関連について、具体的な事例や指導案を確認し理解する。	□
第6回	児童の発達段階に即した図画工作科指導の方法	子どもの表現に関わる発達、特徴・特質、心理について理解し、指導上の留意点について学ぶ。	□
第7回	図画工作科の用具と指導方法の理解	図画工作科の材料・用具、技法について、実践を通して学び安全の配慮や指導の方法を理解する。	□
第8回	図画工作科教材の効果的な活用方法の理解、情報機器及び教材の効果的な活用法	絵や立体に表す活動、色や形を楽しむ活動などを実際に行い、図画工作科教材の効果的な活用方法を理解する。	□
第9回	図画工作科の学習指導案の構成理解と作成	図画工作科の学習指導案の構成を学習指導要領を参考にしながら理解し、模擬授業指導案の作成を行う。	□
第10回	イメージを楽しむ模擬授業の実施とその振り返り	イメージした事柄を絵や立体に表す模擬授業を実施しグループで反省点、改善点をまとめそれらの意見を共有する。	□
第11回	素材を楽しむ模擬授業の実施とその振り返り	素材の違いを楽しむことに重点をおいた模擬授業を実施しグループで反省点、改善点をまとめそれらの意見を共有する。	□
第12回	自然を楽しむ模擬授業の実施とその振り返り	自然物や周りの環境を取り入れた模擬授業を実施しグループで反省点、改善点をまとめそれらの意見を共有する。	□
第13回	協働と共感を大切にした模擬授業の実施とその振り返り	協働と共感をテーマにした題材の模擬授業を実施しグループで反省点、改善点をまとめそれらの意見を共有する。	□
第14回	作品鑑賞活動の方法と実践	児童の絵を見ること、児童が絵を見ることの両面から、鑑賞活動を実際に行いその方法を学ぶ。	□
第15回	図画工作科における意義と課題、授業設計の向上	図画工作科の授業の目標や意義を振り返りながら授業づくりの留意点をまとめる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回講義テーマに関連するテキストの読解または資料のまとめを、当日までに2時間程度の学習として課す。 事後学習として、講義の終わりに提示した問いや模擬授業指導案の改善のための提案に対して、授業内の資料およびテキスト、振り返りシートを参照して2時間程度で自分なりにまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

学生のレポートから授業の理解度を確認し、理解が深まっていない箇所は、授業内でさらなる解説を行う。 模擬授業の実施後、授業内で指導案、授業内容改善の意見交換を行い、改善方法の具体例を振り返りシートに示す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	学習指導要領に示された図画工作科の目標や内容を理解することができる。 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	図画工作科指導において、子どもの造形の理解を土台に、造形指導の理論と方法、技術を学び、指導実践に生かすことができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	図画工作科指導における課題に対して、主体的に授業に取り組み工夫できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で実施する模擬授業と指導案作成の課題、レポート。オンライン授業は、授業振り返りの課題提出後、出席とする。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法: 明日の小学校教諭を目指して萌文書林 （１年次購入済み）	978-4-89347-287-8
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「小学校学習指導要領　図画工作」（平成29年3月告示　文部科学省）	
2	「小学校学習指導要領解説　図画工作編」文部科学省（東洋館出版社）	
3		
4		
5		